



分散登校での1か月

副校長 池田 尚子

8月に出された緊急事態宣言のため、8月27日～31日が臨時休業となり、9月は分散登校での1か月となりました。子どもたちは、いつもと違う教室の雰囲気戸惑いながら、友達に会えない寂しさを感じながらも、落ち着いて学校生活を送っていました。先の予測がつかない状況で我慢していることが増え、知らず知らずのうちに頑張りすぎたり疲れてしまったりした人もいたかもしれません。

学校では、分散登校が始まってすぐに、このような状況の中で伝えたいこと・考えてほしいことをテレビ放送しました。まず、「感染症予防」についてです。マスコットキャラクターのミライ・スマイル・ラブが登場して、予防のためにできることを伝えました。特に給食の時間は感染リスクが高まると言われていることから、手洗い・マスクを徹底することの大切さや、感染予防は自分だけではなく家族や周りの人も守るために必要だということを改めて伝えました。



また、人権学習の一環として「大切にしてほしい気持ち」についても考えました。体調が悪くなった人がいた時、自分がしてあげられることは何かを想像する中で、噂や詮索は人を悲しませたり傷つけたりすることがあり、いたわりや優しさ、共感する気持ちを大切にしていこうと話しました。



そして、この期間に児童がGIGA端末(タブレット)を持ち帰るようになったのは、新しい挑戦でした。家庭学習では、アプリを使った学習やロイロノートによる課題提出など、試行錯誤ではありましたが、学年に応じた取組を進めてきました。教室では、分散の別グループの友達へのメッセージや動画を残すなどして、互いの様子を伝え合う姿も見られました。また今後にも備え、オンライン授業のできる環境づくりも同時に進めています。高学年はMeetを使ったWeb会議を校内で試行しました。こうした新しい学び方や活動に目を輝かせている子どもたちの姿を見て、学びの可能性が広がっていることを私自身も実感することができました。その一方で、情報モラルやマナーに関して懸念される問題は、本校に限らず社会問題となっています。10月には、各学年ごとにインターネットやSNSの危険を学ぶ出前講座を実施する予定です。保護者の皆様もご参観いただければと思います。

さて、10月4日(月)からは、約2か月半ぶりに全員が集まります。前期と後期の折り返しにもなります。引き続き、感染症対策に努めながらも、充実した学校生活にしていきたいと思っております。皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

かみでらおしょうがっこう
みんなであたたかい上寺尾小学校 に
しましょう！

